

(様式3)

自己評価結果票 (フラワー ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	そよ風全体での理念とは別に、地域において普通の生活が営まれるように“姫路ケアセンターそよ風”独自の理念(目標)を掲げている	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を理解するよう努力し、日々のケアに取り組み、また新人職員への説明にも努めている	毎朝の朝礼時に、理念もしくは姫路の目標を唱和するとともに、理解に取り組んでいる
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進委員会議の中で、自治会長、民生委員、婦人会の方等に今後共連携やご協力、ご理解を得られるよう説明やお願いをしている	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	立地条件上、工場が多く、一般住宅がとても少ないが、散歩や花の水やり等の時には、積極的に声をかけを行うよう努めている。 近くの店での買物は利用者の方と共に行き、理解を深めて頂けりように常に心掛けている	より一層、積極的に挨拶や声かけをする
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	船場小学校の音楽会に招待頂いたり、4年生の総合学習の一環としての交流の機会がある。 琴陵中学校、2年生時のトライやるウィークでの実習協力、並びに婦人会、各種ボランティアの方がたくさん来所下さり、利用者様も楽しみにしている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の方々に積極的に挨拶を交わし、行事等のポスティングを行っている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全体が評価内容を確認し、如何にして改善が出来るか、話し合い取り組みを行った、緊急時の体制、意識レベル、個別ケア		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議ごとにその日までの利用者様の様子状況、取り組みを正確に報告している。 会議メンバーから出た意見や要望には、極力応じるように取り組んでいる。心肺蘇生の受講		心肺蘇生の受講を全職員が受けるように順次行っている
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市から案内されるサービス向上の為の研修や勉強会への参加。 問合せ先：市役所、消防局、保健所		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人制度については学ぶ機会が無く、理解していない職員もいる		成年後見制度について研修会を開催 (職員で社会福祉士がいる為研修を実施する)
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	肉体的虐待だけでなく、精神的な虐待にも細心の注意を払い取り組んでいる 言語による拘束にも注意を払っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>今後も、意見や不満を早い段階で知るように努力し、早期の対応対処し、反映させて行きたい</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		<p>入金時の残金と出納帳の確認だけでなく、一年分の出納帳のコピーを家族様に送るようにしたい</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>より良い信頼関係を築いて行けるよう、早目に意見や思いを聞き、特に不満や苦情に対しては速やかに対応する</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		<p>ユニット全体での外出時や受診、長時間の個別対応等、必要に応じ可能な限り勤務調整をして対応している</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や退職には速やかに人員補充を行い、サービスに支障のないように努めている		人員欠如の期間が少しでも短くてすむように人材確保に努めている
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修に参加すると共に全体会議での報告をしたり勉強会を行っている (心肺蘇生の講習会参加)		全員が講習できるよう順次参加している
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	姫路市グループホーム連絡会設立され地域の同業者との交流や勉強会に参加し、サービスの向上に取り組んでいる 管理者は同業者の施設の訪問等により、よりよい施設作りに心掛けている		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員がストレスをため込まないよう、随時配慮している 職員の親睦会、食事会等の実施、また職員相談のフリーダイヤルを本体は設置している		コミュニケーションを多くとるようにしている 管理者は面接等を通じて、対応している
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個人の能力や得意とすることを引き出し、活かせるようにしている		職員が向上を持って、仕事ができるようにこれからも支援していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	入所を希望される理由や本人の意志等の情報収集に努めている	残存機能の把握に努めていきたい
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	話し合いの機会を持ち、家族の希望に応えられるよう、ケアマネージャーを通じて把握できるように努めている	客観的に公平な判断力等、身につけていきたい
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	グループホームが最適か判断し、待機中は在宅サービスがある説明を行う	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入所申し込み事前に利用者様に会い、事前面接を家族と同伴で行うことにしている 入所時は、個別対応の時間を多く持ったり、他利用者様との関係が良好になる様に努力している	家族と職員の連携を保っていきたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者様の生活歴より、いろいろな能力、知識が発揮できるような場面作りを行っている	行事等を利用者様と一緒に楽しむ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	介護記録の開示や介護計画書等により、情報の共有を行っている		家族会を行い、信頼関係を築いていきたい
29	<p>利用者との家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	利用者様とキーパーソンとの関係にも目を向けたアセスメントを行っている		家族関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように努力したい
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	近所の方や友人が気軽に面会に来て頂くように施設の雰囲気づくりに気を配っている		利用者様の交友関係が今後も継続されるよう支援していきたい
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	利用者様一人一人の性格を把握し、関わり合いが良好に保たれるよう絶えず見守り、気配りをしている		利用者同士の関わり合いを支援していきたい
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	今までにサービス終了になった方がおられない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者様との関係を密にすることで、希望や意向を把握し他の職員にも伝え、随時検討・対応を速やかに行っている</p>	<p>利用者様との話し合いをする</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前の事前訪問面接時に聴取しており、その後はご本人との会話やご家族からの情報収集によって把握するようにしている</p>	<p>ユニット会議等で情報交換、共有する</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>現病歴や疾患の把握をし、心身の状態を観察の上日中の過ごし方を見守る</p>	<p>利用者様が安心して過ごして頂けると共に、変調の早期発見に努める</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>出来る限り利用者様本位の計画を作成し、本人様及び家族様との話し合いによって、捺印して頂く</p>	<p>担当者会議の内容に基づく計画の作成</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月のユニット会議で利用者様の変化等を話し合い対応する</p>	<p>利用者様本位の計画を見直し、作成する</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の介護記録、業務連絡はノートに記入する また、業務に入る前には必ず記録、申し送りノートを確認した上、口頭で申し送りを受けて業務に入る		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族様との外出や外食、または利用者様との外出や外食等その時に応じた対応をしている		時期、利用者様の体調を考慮し、対応する
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア、トライやるウィークの受け入れや、小学校音楽会への招待、交流会、消防訓練等地域との交流が出来る		
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームに入居されている為、他のサービスを利用する為の支援は特に行ってない		終末期や老衰等による状態など、観察を行い現場で学んでいきたい
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	グループホーム単体では、地域包括支援センターとの関わりは持てないが、通所介護との関わりがある為、運営推進委員会に参加を依頼し、了解を得ている		運営推進委員会等に参加して協力して頂ける様な体制を行っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療を行っている また利用者体調不良時は主治医に連絡して受診、体調管理に努めている 家族にはその都度連絡している		受診内容と結果を正確に家族様へ伝えて記録に残す 事故報告・医療記録
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	日常生活の中で不穏や精神症状が頻回に見受けられる場合、家族に了解のもと専門医の受診を行っている		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設内に看護師が勤務しており日常の健康管理を行っている 24時間体制で急変時にも対応できるようにしている		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ここ一年は、入院されて利用者様はいない 以前はご家族様におまかせし、お見舞い時に様子を伺い、入院中の経過についての情報を得る様にしている		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアの研修会に参加し、ターミナルにおける症状などの勉強会を行っている が、特に方針については確立していない		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者の日々のレベル低下等の様子を主治医と密に連携を取り、緊急時の対応としては主治医、看護師、職員及び家族との話し合いを持つように努めている		出来るだけ利用者にとって一番良い方法を見極めていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	生活環境の変化は最小限にするよう努めている		利用者との生活の関わり方は連携をとり、情報交換していく
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者一人ひとりの人格を尊重し、その方に合わせた声かけ等を行っている 個人情報の取扱いについて、同意書を交わしプライバシーの確保に努めている		礼儀をわきまえ言動に気をつける
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	利用者からの声かけが出来るような場面を作っていく		自己決定が出来るように声かけする
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	対応出来る体制を整えるよう努めている 利用者個々の生活ペースを優先し、離床時間等希望に添っている 飲食時も嗜好に合わせて提供している		出来るだけ対応できる体制を整え利用者の希望に添った生活支援を行いたい
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	パーマ、カット、毛染め等は利用者の希望に添っている		家族とも相談し、その人らしさを大切にしていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員との声かけにより、盛り付けや果物の皮むき等一緒に行っている(2~3名対応) 下膳は利用者様に協力してもらっている		
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、タバコ等は禁止になっている おやつ等は楽しんで頂けるように工夫している		利用者の希望を取り入れ、一緒に作っていきたい
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表により排泄パターンをつかみ、声かけ、誘導を行っている その為気持ちよくトイレで排泄出来ている		排泄パターンによりトイレでの排泄して頂く
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴曜日・時間帯は決まっているが、体調や希望に応じて変更し対応を行っている (時間 16:00~18:00 個浴対応)		臨機応変に対応していきたい
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間の安眠確保の為、昼夜逆転がないよう声かけする		年齢、体調に合わせた対応を行っていく
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	能力を見極め、レベルに合わせた生活が送れるようにしていく 食器拭き 掃除 花の水やり 季節の花の種まき等		能力を生かし維持していけるようにする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に心じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者によっては自己管理されているが、紛失時の責任の所在は平素より家族に了承して頂いている		利用者の所持金が紛失することがないように見守る
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候、体調等により戸外に出かけようと努力して (個別での外出、買物時等) 季節を感じて頂けるよう花見等もおこなっている		個別の対応が出来るよう、積極的に取り組んでいきたい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節を感じて頂くようにプランを立て外出している 家族と利用者との外出もある		家族との協力を得ながら普出かけられないところへの企画計画実行に取り組みたい 外出を増やしたい
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はかかってきた場合取り次いだり、自宅に連絡入れてほしいとの訴えがあればその都度対応している 年賀状、暑中見舞いを必ず出している 毎月の手紙を出す その際、書ける方は自筆の手紙を家族に送っている		毎月の手紙、年賀状、暑中見舞い等を利用者に書いてもらう
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人等が来所された時は、おもてなしのお茶等をお出しして楽しいひと時が過ごせるよう工夫している		職員も馴染みになり、信頼関係が良好に保てるようにしていきたい
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	不穏や不安感がみられる時も傍らに付き添い、身体拘束のない介護を行っている		拘束は行ってない

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室等は施錠してないが、玄関に関しては電気錠をしている 近辺交通量が多いので危険である 家族には入居契約時、説明了承して頂いている		
67	利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間の連携を取りながら、利用者の所在や様子を把握している 居室ドアを開けたままの状態だと希望されている利用者には、入り口にのれんをつけてもらっている		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個別対応ができています		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒、窒息、行方不明等の可能性が考えられる方に対しては常に見守り、所在確認を行っている また事故発生時は、後日全職員に報告、今後も対応及び注意点を話している		事故報告書を記入し、今後どのように対応するかについて検討しているが、更に細心の注意を払って利用者対応が出来るようにスタッフの意識付けを図る
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急連絡網を作成、張り出しており、朝礼時に手順等を確認している		救急講習は職員が順番に受講しているが、現段階では全員が対応できないので定期的に訓練を行ってほしい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練は、年一回行っている		地域の協力を得る為に、年一回年明けに行われる近隣(三菱電機)工場の懇親会に参加して働きかけをおこなう

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	何名かの家族には、高齢の為、病気、転倒等の可能性が高いことを説明し、主治医から話してもらうようにしている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定期往診時の変調や体調変化があった時は速やかに家族に連絡している 看護師 主治医 受診		体調が落ち着かれた場合も、様子を家族に伝えている
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については処方箋を確認し、わからなければ主治医や薬剤師へ相談している		
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事及び適度な運動を心がけて、便秘予防に努めているが、無理な場合は下剤の使用等も主治医の指示により取り入れている		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人でできない方は毎食後声かけを行い、また一部介助も必要に応じて行っている 義歯は夕食後預かり洗浄している		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量と水分量のチェック表を作成し、利用者の食べやすい形状にして提供したり、水分補給を気をつけて実施している		不穏時や著しい水分拒否が続く時には、時間や場所に関係なく随時嗜好に合った

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症については全体会議等にて、研修を行い、またマニュアルを作成している		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮な食材をほぼ毎日購入し、冷蔵庫内も整理している 台所器具等も消毒を行っている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先には花を植え、優しい空間、環境づくりに心掛けている 出入口がすぐ車道の為、注意をしている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、全ての利用者にゆったり過ごして頂けるような空間作りに努めている 季節毎に花や野菜をベランダに植えて楽しんでいる		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはソファもあるが、一人ひとりでくつろげる空間もあり、使い分けて過ごして頂けている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は使い慣れたものを置いて頂いたり、その方らしい居室作りを自由にして頂いている		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に換気は行っている 室温の調節には利用者の状況に応じてこまめに行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に生活が送れるようにしているが、危険が生じた場合は早急に対応していきたい		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個別に自立できるように工夫している また、介助が必要な方はその能力に沿った工夫をしている		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダには花を植えたり、イスを置いたりしている ベランダに出て花を見たり、野菜を育てたりしている		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

.サービスの成果に関する項目 (フラワー ユニット)		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・通所がある関係で、ボランティア来所等の慰問行事も多く、利用者の生活に活気をもって頂ける
- ・掃除、洗濯たたみ、調理補助等、無理強いすることなく各自の意思を尊重し能力に応じた個別対応を常に心がけている
- ・誕生日会は、当日開催し、昼食メニューは、リクエストに答え、プレゼントやケーキを準備してお祝いしている
- ・独自の体操(うめぼし体操)を毎朝、行っている
- ・不穏や利用者同士のトラブルを未然に防ごうと常に心がけている